



=110= 

須津地区(航空写真)

昭和44年



自然に囲まれて過ごした学生時代

私たちが須津中学校に通っていた昭和40年代前半、まだ舗装されていなかった須津川沿いの土手を歩いて、毎日登下校していました。学校の運動場の南東側に正門があり、正門の両側には、校歌の歌詞にも登場する大きなセンダンの木が植えられていたのを覚えています。当時は、約700人の生徒が在籍していて、東西に延びた木造平屋建ての校舎3棟に、学年ごとに分かれて勉強していました。在学中は体育館がなかったため、教室を体育館がわりにして、柔道や剣道、卓球などの部活動をしていましたよ。

また、当時は中学校にプールがなかったため、夏には須津川の上流に行つて泳いだり、大棚の滝の近くでキャンプをしたりして遊びました。大棚の滝のさらに北側に行くと大きな堰堤があり、ヤマメやサンショウウオなどが生息していました。下流に比べて水がきれいなため、大きく育ったヤマメを捕まえて食べるのが楽しみでした。

自然豊かな環境がこれからも変わることなく、暮らしやすい地区であり続けてほしいですね。



須津中学校卒業生の
[左から]
鈴木 敏弘さん(中里)
鈴木 英之さん(神谷)
伊藤 仁教さん(神谷新町)

こちら編集室

少子化や核家族化によって地域のつながりが薄くなっている中、地域の相談相手として、「民生委員・児童委員」の存在は、非常に重要です。「ご近所さん」の変化に、身近な地域の人が一番気づいてあげたいですね。5月を迎え、今春に

生活環境が変わったことで、疲れがたまってしまふ、いわゆる「五月病」になっている人もいかもしれません。自分自身が心にゆとりを持ち、身近な人のちょっとした変化に気づくことができるよう生活していきたいですね。(もりもり)

人口	257,215人	(前月比 -275)
男	127,085人	(-94)
女	130,130人	(-181)
世帯	101,581世帯	(+585)
4月1日現在		
編集・発行	富士市総務部広報広聴課	
〒417-8601	静岡県富士市永田町1-100	
☎0545-51-0123	☎0545-51-1456	

お問い合わせは
富士市コールセンター
おしえて
コマルふじ
53-1111
[受付時間]
8:30~18:00
土・日曜日、祝日も受け付けます(年末年始除く)